

クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



EURORACK UB1222FX-PRO

Ultra-Low Noise Design 16-Input 2/2-Bus Mic/Line Mixer
with Premium Mic Preamplifiers and Multi-FX Processor

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついていて、これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

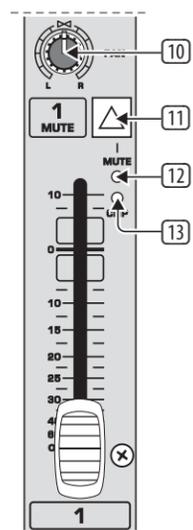
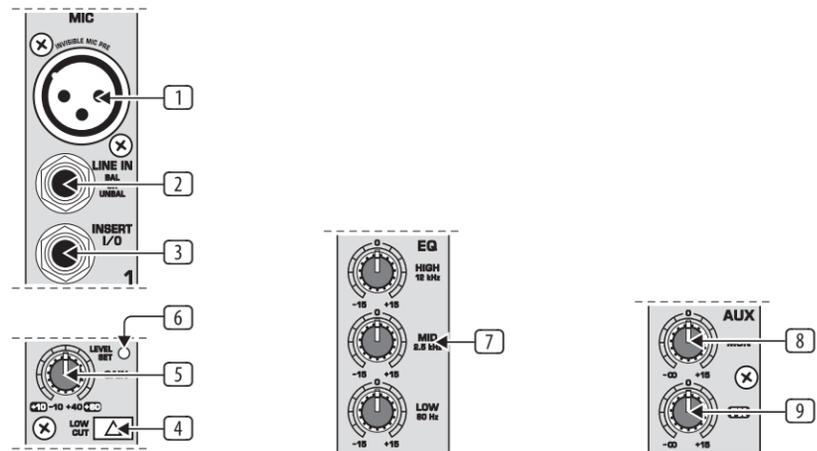
ペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有
© 2013 MUSIC Group IP Ltd.
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

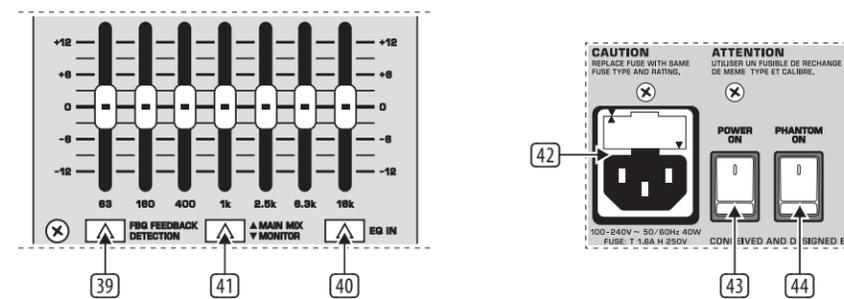
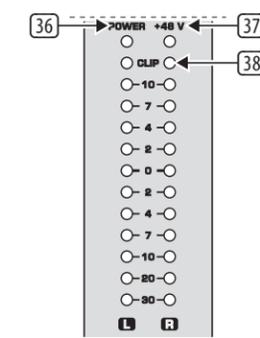
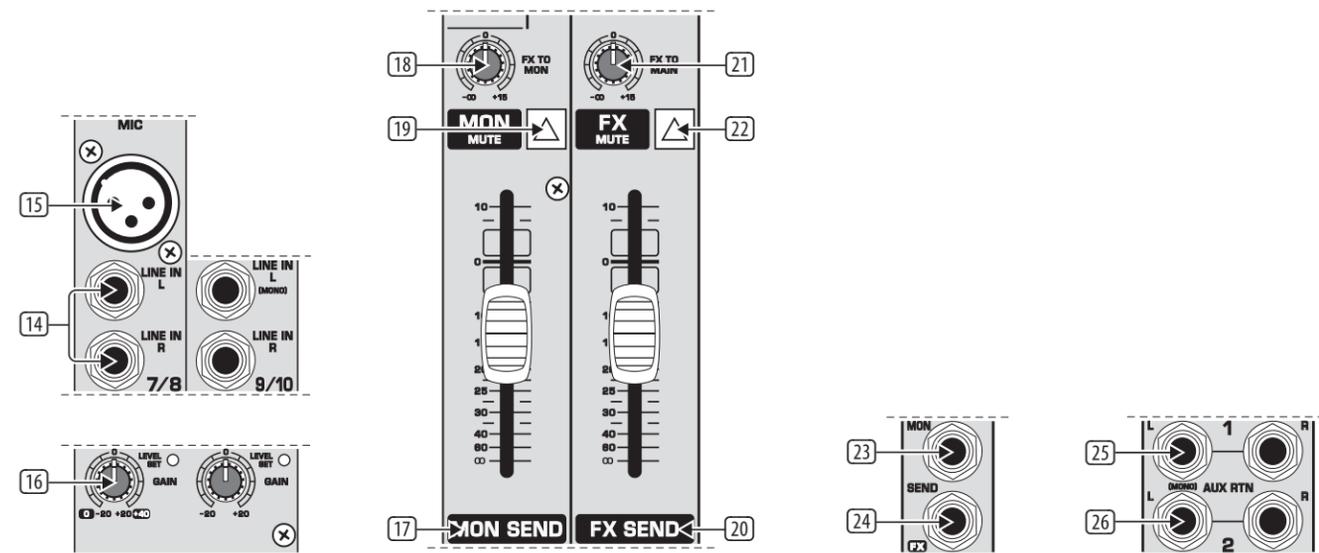
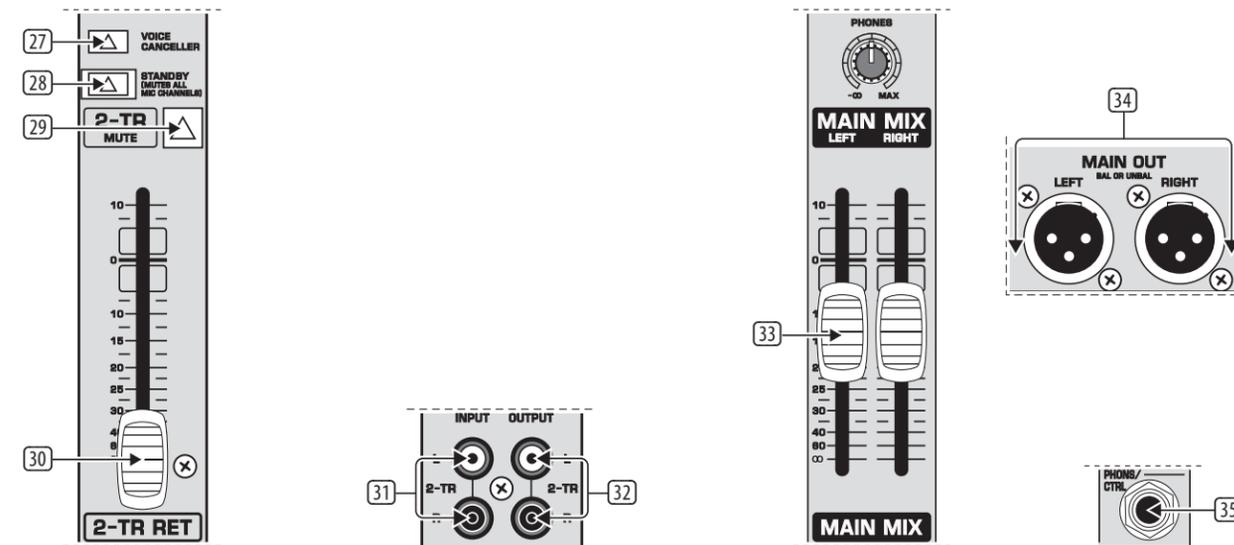
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

EURORACK UB1222FX-PRO コントロール



チャンネルフェーダーとその他のコントローラー



UB1222FX-PRO のグラフィック・ステレオイコライザー

電圧供給およびヒューズ

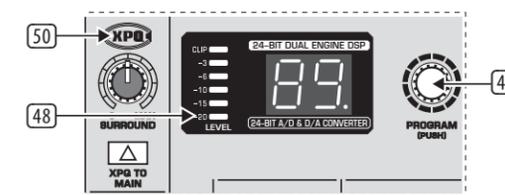
24-BIT MULTI-FX PROCESSOR

00 SMALL HALL	38 REVERSE	80 CHORUS & REVERB
03 MID HALL	40 EARLY REFL	82 FLANGER & REVERB
06 BIG HALL	44 AMBIENCE	84 PHASER & REVERB
09 CHURCH	48 STADIUM	88 PITCH & REVERB
12 SMALL ROOM	52 AMBIENCE FX	90 DELAY & REVERB
15 MID ROOM	56 DELAY	92 DELAY & GATED
18 BIG ROOM	58 ECHO	94 DELAY & REVERSE
21 CHAPEL	60 CHORUS	96 DELAY & CHORUS
24 PLATE	62 FLANGER	98 DELAY & FLANGER
27 OPENED	64 PHASER	00 DELAY & PHASER
30 GATED REV	68 PITCH SWIFT	02 DELAY & PITCH

エフェクトプリセットについての概要



ペダル用接続端子



EURORACK UB1222FX-PRO コントロール

コントロール

- ① **MIC** - 各モノチャンネルにはバランス型マイク入力が入力 XLR コネクタで装備されており、ポタン一つでコンデンサーマイク用の +48V ファンタム電源を供給することが可能となっています。
- ② **LINE IN** - 各モノ入力端子は、バランス型 6.3mm フォンジャックとなっています。
- ③ **INSERT (インサート)** - インサートが使用され、それは信号がダイナミックプロセッサー或いはイコライザーによって処理されるためです。
- ④ **LOW CUT** - さらに本機の各モノラルチャンネルには傾斜の強い LOW CUT フィルターが装備されており、好ましくない低域周波数信号を削除することができます (18 dB / オクターブ、80 Hz 時 -3 dB)。
- ⑤ **TRIM (トリム)** - TRIM コントローラーを使って入力ゲインを調節します。入力端子のいずれかに音源を接続 (またはその逆) する際は、このコントロールを必ず左に絞ってください。目盛りはふたつの異なる値範囲を示します。最初の値範囲 +10 から +60 dB は MIC 入力端子に適用され、供給された信号の増幅を示します。二つ目の値範囲 +10 から -40 dB はライン入力端子に適用され、これは「感度」を示します。
- ⑥ **LEVEL SET (レベルセット)** - この LED は、信号が最高レベルに到達した時に点灯します。通常の範囲では、信号クリップ時のみに点灯するように調節します。
- ⑦ **ハイとロー**の帯域はシェルビングフィルターで、それは全ての周波数が境界線より高い位置或いはより低い位置で高くなるか低くなります。高い帯域と低い帯域の最高周波数は 12 kHz と 80 Hz です。中帯域はピークフィルターとして解釈され、その中周波数は 2.5 kHz です。
- ⑧ **MON** - UB1222FX PRO では、AUX センド 1 (MON) はプリフェーダーとなっているため、特にモニターミックスの設定に適しています。
- ⑨ **FX** - FX によって表示される 2 つの AUX センドは外部のエフェクト装置の装着のために考慮され、スイッチオンされます。
- ⑩ **PAN** - PAN コントローラーにより、ステレオ領域内におけるチャンネル信号のポジションを設定します。
- ⑪ **MUTE (ミュート)** - ミュートスイッチを使ってチャンネルをミュートに出来ませ。それはつまり、チャンネル信号がメインミックスの中に存在しないということです。両方の補助送信帯域 MON と FX 上における信号帯域はそれにもかかわらず、オンのままです。
- ⑫ **MUTE-LED (ミュート LED)** - ミュート LED は従属しているチャンネルがミュートになっているという信号を発します。
- ⑬ **CLIP-LED** - CLIP-LED はチャンネルがあまりにも高く設定されている場合、点灯します。
- ⑭ 各ステレオチャンネルはリンクと正しいチャンネルのためにノブソケット上のふたつのラインレベル入力において決められます。「L」が表示されているソケットを使用した場合、チャンネル 9/10 と 11/12 はモノにも設定できます。
- ⑮ チャンネル 5/6 と 7/8 の両方はマイクのための対称的な XLR 導入部を決め、それは決定に対する +48V ファンタム電源も必要量において残っています。
- ⑯ 全てのステレオチャンネル帯域はレベル一致のために TRIM コントローラーを備えています。チャンネルのマイク入力がある場所に、TRIM コントローラーはふたつの目盛りを持っています。モノチャンネルにおいて、マイク信号用のプリアンプが 0 から +40 dB で告げられ、+20 から -20 dB まではライン入力に対するその都度の導入部レベルのために一致しています。
- ⑰ **MON SEND** - AUX センドコントロール MON SEND はモニターバス用のマスターコントロールとして機能し、MON SEND コネクタを介してミキサーから取り込まれるサム信号のレベルを決定します。このサム信号はモニター用としてアンプに送り込むこともできます。
- ⑱ **FX TO MON** - このコントロールは、内蔵エフェクトプロセッサで処理されたエフェクト信号をモニターミックスに挿入する際に使用します。
- ⑲ **MON MUTE** - モニターミュートのスイッチを押すと、モニターバスがミュートされます。つまり MON SEND コネクタには信号は流れません。

- ⑳ **FX SEND** - FX SEND フェーダーはエフェクトバスの全体的な音量を調節します。このコントロールを開くと、FX SEND コネクタに接続した外部エフェクト機器および内蔵エフェクトプロセッサには、入力信号しか送り込まれません。
- ㉑ **FX TO MAIN** - FX TO MAIN によって、調節器はエフェクト信号をメインミックスの中へ送り込みます。リンク表示上に調節器があり、エフェクト信号は聞こえません。
- ㉒ **FX MUTE** - FX ミュートのスイッチが押され、モニター帯域がミュートになります。FX センド端子に信号はなく、エフェクトプロセッサは入力信号をそれ以上キャッチしません。
- ㉓ **MON SEND** - ここでモニター最終段階の導入部或いはアクティブなモニターラウドスピーカーシステムを接続し、それはチャンネル内のモニター調節器が提供する信号ミキシングを試聴すること或いは音楽家がミキサー上で聞こえるようにするためであります。
- ㉔ **FX SEND** - FX SEND 端子は FX 調節器によって個々のチャンネルをモノラル盤で出した信号を導きます。ここで処理したい FX 合計母線の合計信号と共に外部のエフェクト装置を接続してください。エフェクトミキシングが調節され、補助リターンソケット内のエフェクト装置のアウトレットからの処理された信号が返送されます。
- ㉕ **AUX RETURN 1 (AUX リターン 1)** - 補助リターン 1 ソケットは増幅においてエフェクトミックスのための戻り道として働き、それによってエフェクト帯域を発生させることができます。左側のジャックのみに接続がおこなわれている場合には、Aux リターン は自動的にモノラル出力となります。
- ㉖ **AUX RETURN 2 (補助リターン 2)** - 補助リターン 2 ソケットは補助リターン 1 ソケットと全く同様に調節できます。これらのジャックが追加入力用として既に使用されている場合、別のチャンネルを通してエフェクト信号をミキサー内に再度送ることが必要です。この際、チャンネル EQ により、エフェクト信号の周波数帯域を変更することが可能です。
- ㉗ **ボイスキャンセラー** - これは録音からヴォーカルパートのみをほぼ完全に切り除くことのできるフィルター回路です。

- ㉘ **STANDBY (スタンバイ)** - スタンバイスイッチを押すと、マイクロフォン接続 (XLR コネクタ) による全ての入力チャンネルがミュートになります。一時停止において、PA 設備上に届くマイクの雑音が最悪の場合、ラウドスピーカーの振動板を破壊してしまう恐れを防止することができます。
- ㉙ **CD/TAPE MUTE (CD / テープミュート)** - このスイッチを使って CD / テープ入力からの入力信号がミュートになります。
- ㉚ **CD/TAPE RET(URN) (CD / テープ巻き戻し)** - ステレオフィーダーはメインミックスに CD / テープ入力からの導入信号を付け加えます。
- ㉛ **CD/TAPE INPUT (CD / テープ入力)** - CD / テープ入力端子は 2 トラックレコーダー (例えば DAT レコーダー) 或いは CD プレーヤーの接続に適しています。
- ㉜ **CD/TAPE OUTPUT (CD / テープ出力)** - この接続は予めグラフィック EQ と XPQ サラウンド機能をモノラル盤で出すためのものです。ステレオの合計をエフェクトミキシングを含んだ非対称的な形で処理することができます。録音装置の導入部をここで接続してください。
- ㉝ **MAIN MIX** - 高精度・高品質フェーダーがおよびメインミックスの出力レベルをコントロールします。
- ㉞ **MAIN OUT (メイン出力)** - メイン出力はメインミックス信号を導き、+4 dBu の最低レベルを持つ対称的な XLR ソケットとして決められます。
- ㉟ **PHONES/CTRL 端子** - この 6.3mm ステレオフィンジャックにヘッドフォンを接続します。このコネクタは、アクティブモニタースピーカー (もしくはアンプ) をコントロールルームに送り込むことも可能です。この場合、信号はメインミックスフェーダーに送り込まれる前に直接取り込まれます。
- ㊱ **電源** - 青色の POWER-LED が表示されますと、装置のスイッチがオンになっているということです。
- ㊲ **+48V** - 赤色の +48V-LED はファンタム電源のスイッチがオンになった時に点灯します。ファンタム電源はコンデンサーマイクの範囲に必要なもので、関連するスイッチによって装置の裏面でアクティブになります。

- ㊳ **LEVEL METER/CLIP (レベルメーター / クリップ)** - 高精度のレベルメーターは出力信号の強さを表示します。
- ㊴ **FBQ フィードバック検知 (FBQ FEEDBACK DETECTION)** - このスイッチで FBQ フィードバック検知システムを作動させます。フィードバック周波数が検出されると、周波数バンドフェーダー上にある LED が点灯します。フィードバックを抑制するためには、該当する周波数帯域のフェーダーを下げて下さい。グラフィックスステレオイコライザーのスイッチをオンにすると、この機能が使えるようになります。
- ㊵ **EQ IN** - このスイッチにより、グラフィックイコライザーを起動させます。イコライザーのスイッチがオンになり、フェーダー LED が点灯します。
- ㊶ **MAIN MIX/MONITOR** - スwitchが上部ポジションにある場合、ステレオイコライザーでメインミックスを加工することができます。この場合、モニターミックスはイコライザーによる影響を受けません。スイッチが押された状態にある場合、イコライザーはモニターミックス (モノラル) を加工することとなります。この際、メインミックスへの影響はありません。
- ㊷ **ヒューズホルダー / 標準 IEC コネクタ** - 電源への接続には標準 IEC コネクタを使用します。このアダプターは必要安全基準を満たしていません。この装置には適合する電源コードが付属しています。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用してください。
- ㊸ **POWER スイッチ** - POWER スイッチでミキサーの電源を投入します。電源コンセントに接続する際にこのスイッチが「オフ」になっていることをご確認下さい。本体を主電源から切る時は、メインコードのプラグを引き抜いてください。製品を設置する際は、このコンセントを容易に外せるような場所に置くようにしてください。

- ㊹ **PHANTOM スイッチ** - PHANTOM スイッチにより、モノラルチャンネルの XLR コネクタへのファンタム電源供給機能を起動させます。この機能はコンデンサーマイクを使用する際に必要となります。ファンタム電源供給機能が起動されると、赤色の +48V LED ランプが点灯します。
- ㊺ **シリアルナンバー**。
- ㊻ **24-BIT 多重効果プロセッサ** - ここに多重効果プロセッサの全ての前もって作成したプログラムの概要を了解できます。
- ㊼ **FOOTSWITCH** - エフェクトプロセッサのオン・オフ切替用として、市販のフットスイッチをフットスイッチジャックへ接続してください。ペダル用のエフェクトプロセッサがミュートの場合、これはディスプレイ下の点滅する点灯ポイントによって表示されます。
- ㊽ **LEVEL** - エフェクトモジュールに対する LED レベル表示は十分に高いレベルを表示してはなりません。クリップ LED がレベルチップのみに点灯することを注意してください。一定の過度挽向でエフェクトプロセッサが光り、不快なはずみが発生します。FX センドフェーダーはここでレベルをコントロールし、それはエフェクトモジュールに届きます。
- ㊾ **PROGRAM** - PROGRAM コントローラーを回転させ、エフェクトプリセットを選択します。ディスプレイ上にセットされたプリセット番号が点滅表示されます。ボタンを押すと選択中のプリセットが確定され、点滅が止まります。選択プリセットの確定にはフットスイッチの使用も可能です。
- ㊿ **XPQ** - XPQ TO MAIN スイッチにより、サラウンド機能のオン・オフ切り替えがおこなえます。このサラウンド機能とは、内蔵エフェクト機能によるステレオベース拡張効果です。これにより生き生きとした、透明感あふれるサウンドがお楽しみいただけます。SURROUND コントローラーによりエフェクト強度を設定できます。

behringer.com にてマニュアルをチェック

JP 技術仕様

モノラル入力	
マイク入力 IMP (インヴィジブル・マイク・プリアンプ)	
タイプ	XLR 電子バランス型入力、別系統入力
Mic E.I.N. (20 Hz - 20 kHz)	
@ 0 Ω 入力インピーダンス	-134 dB / 135.7 dB A-weighted
@ 50 Ω 入力インピーダンス	-131 dB / 133.5 dB A-weighted
@ 150 Ω 入力インピーダンス	-129 dB / 130.5 dB A-weighted
周波数帯域	<10 Hz から 150 kHz (-1 dB) <10 Hz から 200 kHz (-3 dB)
増幅域	+10 から +60 dB
最高入力レベル	+12 dBu @ +10 dB ゲイン
インピーダンス	約 2.6 kΩ / バランス
S/N 比	110 dB / 112 dB 出力スケール (0 dBu In @ +22 dB ゲイン)
歪み率 (THD+N)	0.005% / 0.004% 出力スケール
ライン入力	
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック電子バランス型入力
インピーダンス	約 20 kΩ バランス 約 10 kΩ アンバランス
増幅域	-10 から +40 dB
最高入力レベル	+22 dBu @ 0 dB Gain
フェードアウトアッテネーション ¹ (クロストークアッテネーション)	
メインフェーダー閉	98 dB
チャンネルミュート時	85 dB
チャンネルフェーダーミュート時	85 dB
周波数帯域	
メイン出力へのマイク入力	
<10 Hz から 90 kHz	+0 dB / -1 dB
<10 Hz から 160 kHz	+0 dB / -3 dB
ステレオ入力	
チャンネル 5/6, 7/8	
マイク入力	
タイプ	XLR 電子バランス出力
インピーダンス	約 2.6 kΩ バランス
増幅域	0 dB から +40 dB
最高入力レベル	+2 dBu
ステレオ入力	
タイプ	2 x 6.3 mm モノラルジャック、アンバランス出力
インピーダンス	約 40 kΩ @ 型 0 dB Gain
増幅域	-20 dB から +20 dB
最高入力レベル	+22 dBu @ 0 dB Gain
チャンネル 5/6, 7/8	
タイプ	2 x 6.3 mm モノラルジャック、アンバランス型出力
インピーダンス	約 40 kΩ @ 0 dB Gain
増幅域	-20 dB から +20 dB
最高入力レベル	+22 dBu @ 0 dB Gain
CD/Tape In	
タイプ	RCA
インピーダンス	約 10 kΩ
最高入力レベル	+22 dBu
EQ モノラルチャンネル	
Low	80 Hz / ±15 dB
Mid	2.5 kHz / ±15 dB
High	12 kHz / ±15 dB
Low Cut	80 Hz, 18 dB / オクターブ

EQ ステレオチャンネル	
Low	80 Hz / ±15 dB
Mid	2.5 kHz / ±15 dB
High	12 kHz / ±15 dB
FX/MON セント	
タイプ	6.3 mm モノラルジャック、アンバランス型出力
インピーダンス	約 120 Ω
最高出力レベル	+22 dBu
Aux リターン	
タイプ	6.3 mm モノラルジャック、アンバランス型出力
インピーダンス	約 10 kΩ
最高入力レベル	+22 dBu
メイン出力	
タイプ	XLR 電子バランス型出力
インピーダンス	約 240 Ω バランス / 120 Ω アンバランス
最高出力レベル	+28 dBu
コントロールルーム出力	
タイプ	6.3 mm モノラルジャック、アンバランス出力
インピーダンス	約 120 Ω
最高出力レベル	+22 dBu
ヘッドフォン出力	
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック・アンバランス
最高出力レベル	+19 dBu / 150 Ω (+25 dBm)
CD/Tape Out	
タイプ	RCA
インピーダンス	約 1 kΩ
最高出力レベル	+22 dBu
DSP	
コンバーター	24-bit Sigma-Delta, 64/128 倍オーバーサンプリング
サンプリングレート	40 kHz
メインミックス・システムデータ ²	
ノイズ	
メインミックス @ -∞、チャンネルフェーダー -∞	-99 dB / -101 dB A-weighted
メインミックス @ 0 dB、チャンネルフェーダー -∞	-84 dB / -87 dB A-weighted
メインミックス @ 0 dB、チャンネルフェーダー @ 0 dB	-80 dB / -82 dB A-weighted
電源供給	
供給電圧	100 から 240 V~, 50/60 Hz
消費電力	40 W
ヒューズ	100 - 240 V~: T 1.6 A H
電源アダプター	標準 IEC コネクター
外形寸法および重量	
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 97 x 345 x 334 mm
重量 (正味重量)	約 4.49 kg

計測条件:

- 0 dBu あたり 1 kHz rel.、20 Hz ~ 20 kHz、ライン入力、メイン出力、ゲイン @ ユニティー
- 20 Hz ~ 20 kHz、メイン出力によるチャンネル 1~4 ゲイン @ ユニティー、サウンドコントロール ニュートラル、全チャンネル メインミックス設定、チャンネル 1/2 左端、チャンネル 3/4 右端レファレンス = +6 dBu

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You